

# ご挨拶

## 第十九世住職

わたなべりゅうこう  
**渡邊隆厚**



謹啓 寒冷の候、今年もいよいよ残りわずかとなってしまいました。ご尊家の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、前回の不動院だよりでは不動明王のお話をしましたが、不動院には他にも仏様が祀られています。本堂向かって左側にいらつしやるのが、毘沙門天様です。

毘沙門天はもとヒンドウ教の財富の神であったクヴェーラ神が仏教に取り入れられ、仏神となったものです。仏教では四天王の二神であり、四天王としてお祀りする時には多聞天として呼ばれております。常に仏の道場に在つて多くの法を聞き、あるいはその福德の名声が遠く十方に聞こえることから多聞天といわれ、また財を授けることから施財天ともいわれます。その姿は、身に甲冑をつけ、左手に宝塔を捧げ、右手には宝棒を持ち、忿怒の形相で邪鬼の上に立ち(座り)ます。日本では昔から信仰されており、仏教守護から転じて国土守護の武神として、とくに武将の間で信仰されるようになりました。

また、毘沙門天は護法と施福を兼ねる仏神として、七福神の二神にも数えられ、民衆に勇気や決断力を与え、財福を授ける福神として広く信仰されています。毘沙門天が入っている七福神とは、毘沙門天、大黒天、恵比寿天、寿老人、福祿寿、弁財天、布袋尊の七つの神様の総称です。七福神は室町時代の末期のころから信仰されており、七福神を参拝すると七つの災難が除かれ、七つの幸福が授かると言われています。

不動院奉讃会でも来年の令和4年3月3日(木)に淡路島七福神巡りを予定しております。ぜひ、この機会に皆様に七福神参拝の功德を頂いてもらい、一緒に巡拝出来ればと思っております。お一人でも、近隣の方や檀家以外の方をお誘いくださっても構いませんので、ご参加頂ければ幸いですに存じます。参加ご希望の方は、総代世話人様又は不動院にお申し込み下さい。

合掌



不動院本堂「毘沙門天」様



七福神

## 檀家さんご紹介コーナー

### 中西清様(岡山市浦安・昭和二年生まれ)の短歌をご紹介いたします。



- 【短歌誌「龍(りゅう)」 十二月号掲載】
- きのふ迄 畑仕事を してあたる 弟が逝きぬ うそではないか
- 弟の もはや通らぬ 蛙道に 彼岸花あかく つらなりて咲く
- 彼岸花の 咲きつらなれる この道を もはや弟の 通ることなし
- 三歳下の 分家の弟が 逝きにけり 一番頼りに してゐし弟
- 本家の 兄よとわれを たてくれし 弟ふじおが 逝きてしまひぬ
- 弟が 先に逝きたり 年の順など わきまへることも なくて逝きたり
- きのふまで 働いておましたと 言ふやうに 陽やせし顔よ 棺(ひつぎ)の中に
- 清ちゃんと呼びくれる者の 此の世には もはや居らぬか 誰か居らぬか

清作

### 田村章子様

田村章子様(岡山市)から、手作りの縁起の良い紐結びを度々たくさんいただいております。色々な種類があります。年頭受けや行事の際にお接待させていただきますが、人気ですぐ無くなります。楽しみにしております。楽しみにしております。



### 尾崎様(鴨方町)

より、美しい紙で手作りされた箸袋などを毎年たくさんいただいております。



### 金児様(里庄町)

より、手作りの千支の折紙を毎年いただきます。飾っております。



千支の丑

## 第七回 不動院 菊花展の様子

令和3年11月1日(月)〜30日(火)



檀家さん 忠夫様 平野昭富 昭和23年生 岡山市富岡

今年で7年目になります。いろいろな形の美しい菊に訪れた人たちは感動されていました。毎年感謝の気持ちでいっぱいです。



## 岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校 高等部(琉球三味線部)「琉球三味線コンサート」の様子

令和3年11月14日(日)

岡山学芸館高等学校、清秀中学校の琉球三味線部による素晴らしいコンサートが開催されました。菊の花が満開で小春日和の好天気に恵まれ、琉球三味線の音色や歌に聴きほれていました。太鼓、踊りなどもあり、観客も一緒に楽しめる内容で大変盛り上がりしました。コーヒーや駄菓子のお接待、地元の子どもたちからの花束贈呈もあり、大盛会でした。来年もお越しください。楽しんでます。



琉球三味線 コンサート